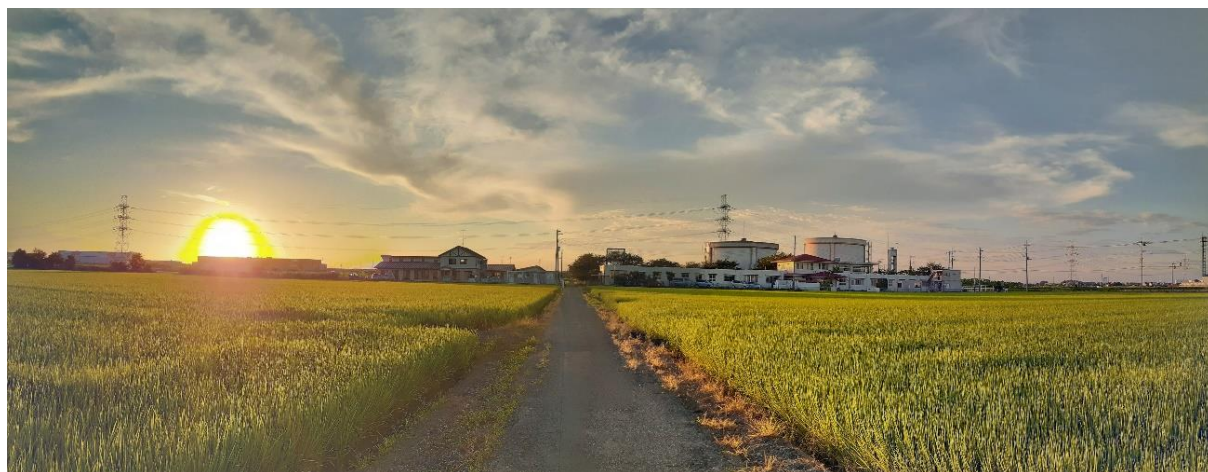


# 社会福祉法人 平野の里

×

# SDGs



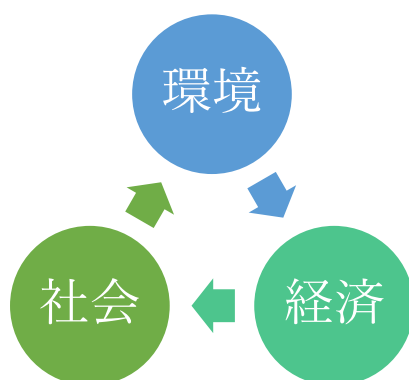
チャレンジ…私たちのできることから…

2023年2月～

SDGs(エスディージーズ:Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標)とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

貧困、気候変動、資源の枯渇など世界の人々が直面している数多くの課題を解決し、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないを誓い、発展途上国だけでなく先進国も含め全世界で取り組むべきユニバーサルな目標です。

私たち社会福祉法人平野の里では、「一人一人を思いやり、笑顔あふれる温かい施設」を基本理念とし誰もが暮らしやすい社会の実現を目指しています。その中で避けては通れない環境や人権等の諸問題について、みんなで話し合い、それぞれがアイデアを出し合い「平野の里のSDGs」を定めました。このSDGsを通してそれぞれの立場で持続可能な社会に向けた取り組みに貢献していきます。



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 1 貧困をなくそう



- 既存制度で対応しきれない課題や生活困窮等の福祉課題に取り組む「彩の国あんしんセーフティネット事業」へ参加しています
- 埼玉県社会福祉法人社会貢献活動(あんしんセーフティネット事業・就労支援事業・衣類バンク事業)に参画し、生活困窮支援を実施します
- セブン-イレブン商品寄贈 SAITAMA プロジェクトの寄贈品を受取り、生活困窮者の支援に活用していきます
- あやめ笑顔食堂(子ども食堂)の運営・実施により支援を必要とする方々への提供を継続します
- 法人間連携事業「幸手子育て応援フードパントリー」への活動参画により食品や日用品の配布などの支援を継続します
- 福祉に携わる職員の給与水準向上を図ります  
⇒処遇改善加算、特定処遇改善加算

## 2 飢餓をゼロに



- 当施設の畑でとれた野菜について、可能な限り事業所内の食事だけでなく子ども食堂や、食料を必要とされる方へ無料でお配りします
- 管理栄養士によるご利用者様への栄養管理マネジメントの提供を継続します
- 季節、歳時に合わせた献立作成によるイベントの実施します
- ご利用者が食べられる量を把握した食品ロスの実現します

## 3 すべての人に健康と福祉を



- 赤い羽根共同募金や歳末助け合い運動、職域募金に積極的に参加します
- 職員健康診断、メンタルヘルスチェック、インフルエンザ予防接種等の実施、病気やケガでの入院時などの生活面でのサポートします
- 利用者の移動時の負担軽減および職員の腰痛予防、移動の安全面を踏まえ、移動用リフトの導入など ICT 化を促進します
- 地域の必要とされる福祉サービスを研究し、少しでもニーズに対応出来るように努力します

## 4 質の高い教育をみんなに



- 職員の福祉系資格取得のバックアップの継続をしています
- 相談支援事業所等を通して、地域へ福祉関係の啓発や専門的な知識を広め、生涯学習等の機会をつくります
- 福祉業界の次世代を担う人材養成のため、実習生の受入れ支援を継続し、学生の学びの場を維持確保します⇒保育・社会福祉・介護福祉士等
- インターンシップや仕事体験機会を設定し、職業啓発の機会をつくります
- 新人からベテラン職員を対象とした施設内外の職員研修の実施します

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



- 倫理面での適切な対応(ハラスメントなど)について職員教育をしっかりと取組み、男性の育児休暇が利用しやすい環境を整備していきます

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



- 施設の水道節約を啓発し効率よく使用する取り組みを行います

7 エネルギーをみんなに  
そしてクリーンに



- 施設のエアコンを定期的に高効率の物に買いなし、電気の節約を啓発し効率よく使用します、特にエアコンのフィルター清掃の計画立てて現場の職員が行うことで意識を高めます
- ペーパーレス化を進め、コピー用紙の使用量を 2030 年までに現在の50%にします
- 不要な照明の消灯や施設の照明設備の LED 化をさらに進め、省エネ対策に努めます
- 購入する商品(冷蔵庫、TV など)を見かけ単価を基準とせず、エネルギー消費を基準にすることで省エネに努めます

8 働きがいも  
経済成長も



- 障がい者、シニア、若者など多様な人材が働ける場を創ります
- IT デジタルを活用し安全で快適に働ける環境を整え、ワークライフバランスの充実を図ります
- ICT化推進の一環によるeラーニングの活用でスキルアップを図ります
- 働き方改革を継続し、有給取得、育児休業、手厚い職員配置等を行い職員数だけでなく戦力になる人材の質の向上にも力を入れます
- 内外部研修や各カテゴリーの会議などによる職員の育成及び組織体制の強化をします
- 職員満足度調査(キャリアデザインシート)の実施を継続します

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう



- 入居者の移動時の負担軽減および職員の腰痛予防、移動の安全面を踏まえ、移動用リフトの導入など ICT 化、ロボット普及率をあげていきます  
→見守りセンサー、カメラ導入後の検討、検証をしていきます
- 法人内部監査部門を設置し、内部牽制および法令遵守に取り組む体制を構築します→拠点ごとに毎年、内部監査を実施していきます

10 人や国の不平等  
をなくそう



- 虐待防止権利擁護の委員会を中心に、権利擁護アンケート、虐待防止アンケートの継続・実施を図り理解促進に努めます
- 虐待防止権利擁護に関する施設内研修を定期的実施し、理解促進に努めます

11 住み続けられる  
まちづくりを



- 公式 SNS を通じて地元幸手市の PR サポーターとして地域の活性化を図ります
- 地元のお祭りの一環として、盆踊り行事を地域コミュニティとして継続していきます
- 自治体との連携による、福祉避難所の環境整備を図ります
- 地域の必要とされる福祉サービスを研究し、少しでもニーズに対応出来るように努力します

12 つくる責任  
つかう責任



- コピー使用枚数を削減し、ペーパーレス化 (ICT 化の促進) を図ります
- 施設内で使用したペットボトル、紙パック、電池、カートリッジ、切手等の回収を行い、資源のリサイクルに協力していきます
- 利用者や職員にエコバッグ、レジ袋の再利用を推奨し、レジ袋の削減、プラスチックを減らす活動をしていきます
- 災害備蓄食材を、賞味期限前に使用することにより、廃棄をなくします

13 気候変動に  
具体的な対策を



- 地域や関係団体と災害協定、BCP 訓練を実施していきます
- 災害に強い施設整備を計画し、災害時には避難所として解放し地域の方が安心して避難できる環境を整えます

14 海の豊かさを  
守ろう



- エコバッグを推奨し、試用するプラスチックを減らす活動を推進していきます
- 食べ残し、飲み残しを直接、排水しないように職員に啓発、教育していきます

15 陸の豊かさも  
守ろう



- 彩の国ロードサポート活動を通じて地元地域の美化活動の取り組みを継続していきます
- 法人内の緑化整備を継続し、地域に根差した環境づくりを推進します

16 平和と公正を  
すべての人に



- 障がい者や社会的弱者への虐待がなくなるよう、啓発活動を行います
- 虐待防止、身体拘束廃止への取り組みを継続して実施していきます
- ハラスメント相談窓口を法人内に設置し、適切に対応していきます

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



- 委託業者や関係機関と連携し、SDGsの取組みを協働して実施していきます
- 社会的包摂に向けた、介護・医療及び異業種との連携推進
- 「埼玉県 SDGs パートナー」に登録し、法人全体として SDGs に対する意識を高め目標達成に向けて取り組みを推進していきます